

広報 ぬまた

4
月号

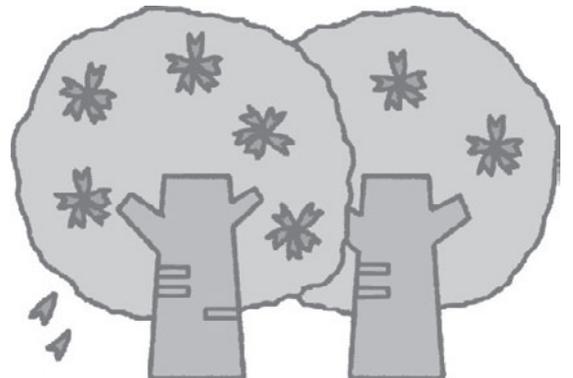
2012.4.26 No.558



4月6日（金）沼田小学校新1年生

今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・2
- ★教育執行方針・・・5
- ★入学式・・・7
- ★平成24年度予算・・・10
- ★まちのニュース・・・18
- ★沼田消防から（消報）22
- ★沼田警察署から・・・23
- ★生涯学習ゆめつくる・・・24
- ★図書館から・・・25
- ★後期高齢者・・・26
- ★ふれあいINFO・・・28
- ★役場機構図・・・29
- ★役場課の配置図・・・30
- ★新規採用職員等紹介・・・31



町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。

 北海道沼田町
フェイスブック公式ページ
facebook

平成24年 町政執行方針

3月8日（木）から3月15日（木）まで開催された第一回議会定例会で、金平町長が平成24年度の執行方針について述べ、生沼教育長が教育に関する執行方針を述べました。
今回の広報は、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務課までお問い合わせください。



私は、昨年5月の町長就任以来、町民の皆様から寄せられる大きな期待を励み

ため、多くの町民の声を聴くため、町民の皆様のもとに出向き、ご意見をお聞きする機会を増やすとともに、

町内各種団体と意見交換をしながら出来る限り誠実に、そして、町民の生活に身近な役場になることを念頭に「今住んでいる人を大切に」新しいまちづくりに向けて、全力で取り組んでまいりました。

この間、深いご理解と温かいご支援を賜りました誠に

厚く感謝申し上げます。

今日、我が国は先に公表された国立社会保障・人口問題研究所が推計した50年後の将来人口が示すように本格的な人口減少や超高齢

化社会を迎え、年金・医療・社会保障制度の抜本的な見直しが必要となっておりま

す。また、食糧生産は農林漁業全体において、所得の減少、担い手不足の深刻化、

高齢化の進展が長期間に亘っていることに加え、東

北大震災と放射能汚染による生産基盤の喪失などによる生産構造の空洞化が進んでいます。

更に、ヨーロッパにおけるEU加盟国の債務超過問題と米国における経済不況の深刻化に伴う円高など、

世界的な経済活動の停滞による失業者の増加は国内外で大きな問題となっており、消費者の低価格志向は

依然として強くデフレ基調とあいまって、生産者価格が低水準で推移し、農家経済を不安定なものにしています。

農業情勢に不安を感じている中、政府は昨年11月に「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」ことを表明いたしました。TPP協定は、その交渉内容によつては、農業のみならず関連産業や食の安全、建設業、医療、金融、保険など多岐にわたり、産業活動や生活に重大な影響を与えることが強く懸念されています。

加えて、大震災からの復興・復興・原発事故との戦い、日本経済の再生等、大きな課題が山積している中で、第180回通常国会が開会され、野田内閣は、目の前にある課題を一つ一つ解決していくことを使命に「日本再生元年」と位置づけ、国政の重要課題を先送りしてきた「決められない政治」からの脱却を目指す

ことを掲げて、通常国会が開会されておりますが、政治の混迷は一層増し、国に行く末は極めて不透明なものとなり、国民の不安が増すばかりとなっております。

本町の基幹産業であります農業については、昨年は春耕期から気象の変化が激しく農作業並びに生育にも大きく影響し、基幹作物である水稻の出来秋が心配されましたが、いもち病など病害虫の発生も抑制することが出来、登熟期の高温などにより質・量ともに、平



成20年の大豊作に次ぐ結果となり、米価の回復も加わった事から販売額も増加したところであります。

しかし、畑作物については高温と降雨の影響から、全般的に前年度を下回る販売額となり、相対的に見ると水稻の好調が農家所得を押し上げる結果となりました。

所得の確保を図るには昨今の気象の変動や病害虫への対応など基本技術の励行による厳密な肥培管理の下での品質と収量の確保に努力する必要があります。と考えております。

一方、商工業においては、過疎化に加え、多様化する消費者ニーズ、近隣の大形店への消費の流出等から地元の2店舗が廃業するなど、非常に厳しい経営環境にあります。懸念でありました沼田小学校の建替え工事に着手したことやリフォーム助成事業の実施な

ど地域経済の活性化に向けて努力してまいりました。また、昨年5月の就任以来、既存事業の検証を行い、最も効果的な行財政運営を心がけるとともに、10年後、20年後を見据えた町づくりを進めてまいりたいと考えております。

平成24年度は、就任後、初めての本格的な予算編成となりますが、私の町政執行に対する基本的な考え方及び主要な施策の概要を申し上げます。



町政執行の基本的な考え方について

平成23年度からスタートした沼田町第5次総合計画で掲げる町の将来像「ずっと支える、もつとはばたく、雪国の理想郷沼田町」を実現するため、平成24年度においては、「健康」「教育」「地域力」そして「防災」をキーワードに施策を展開してまいりたいと考えております。

田町の将来を担う子供たちに良好な教育環境を提供し、学力向上と豊かな強い心を育む教育を進めてまいります。

③ 地域力の向上について

特に糖尿病や心臓病などの生活習慣病が若い年代からも増えてきており、生活の中で「食」と「運動」を取り入れた改善が効果的であることから、専任の「健康運動指導士」を配置し、保健師、管理栄養士とも連携して、保健活動、食生活指導、運動を通して住民の健康づくりを応援してまいります。

地域資源を有効に活用し、商工業の活性化や観光振興を図るとともに足腰の強い持続可能な農業を推進するため、JA、土地改良区、農業委員会等と提携して、新しい沼田農業を考える町民会議（仮称）を設置し、農業の6次産業化を見据えて検討してまいりたいと考えております。

① 町民の健康づくりの推進 「健康」

「私の健康が創る「沼田の未来」をスローガンに、町民の健康にこだわった町づくりを進めます。

町民の幸せを願う町政にとつて最も大切な事は「町民の健康」であり、健康で仕事をし、生活を楽しむ事が一番ではないかと思っております。

② 教育環境の充実 「教育」

まちづくりは人づくりであり、人づくりは町の「根幹」であり、その役割を果たすのが「教育」であります。行政といたしましても、その「教育」に一層の力を注いでまいりたいと考え、沼田町の将来を担う子供たちに良好な教育環境を提供し、学力向上と豊かな強い心を育む教育を進めてまいります。

住民一人ひとりの健康が保たれ、生活の質を向上させたいと考えて、沼田町の将来を担う子供たちに良好な教育環境を提供し、学力向上と豊かな強い心を育む教育を進めてまいります。

④ 防災対策の充実

「防災」

昨年の東日本大震災を教訓に今まで以上に安心・安全で災害に強い町づくりを進めてまいります。

これらの施策を実行するため、行政組織の見直しを行います。

町政の課題に積極的に取り組み、効果的な政策を企画・立案し、スピード感を持って実行していくため、新たに政策推進室を設置し、公約の実現に向けて取り組みとともに、町民に親しまれ、機能的で効率的な行政運営を進めるための事務分担の変更も含めた役割組織の見直しを行います。

町財政は、地方交付税をはじめ、国などからの依存財源が多くを占める財政構造にあることから、その如何によつては大きく影響を受ける実態にあります。

今後も国の財政動向や経済動向を見極め、町の将来に禍根を残すことのないよう、引き続き収支均衡のとれた健全な財政運営を基本とし、ムダの排除、将来を見据えた公債管理、新規プロジェクトに対する早期財源手当、財政秩序の堅持等に努力してまいります。

提案しております一般会計予算は、課題であります沼田小学校改築事業・学童保育所整備事業の2期目予算を計上し、当初としては大型の総額48億円（対前年比17.5%増）としたところであります。

また、7特別会計の総額は18億467万円となり、一般会計、特別会計を合わせた総額は66億467万円です。



地方を取り巻く環境が目まぐるしく変化している今日、過疎化が急速に進む沼田町を取り巻く環境は、決して容易なものではなく、克服しなければならぬ課題が数多くあります。

また、昨年5月及び8月に地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（以下「地域主権改革一括法」という。）が公布され、事務を執行する権限の一部を市町村に移譲されるほか、全国一律で定められている義務

付け・枠付けの見直しを行われることから市町村においては多岐にわたる事務について自らの判断の下で各種基準を見直すことも必要となりました。

そのような状況にあつて、地域の活力の源は「人」であることを肝に命じ、常に問題意識を持ち、「自ら考え」、「自ら実践」して、地域の課題解決に向けて、積極的に取り組む職員の育成に取り組んでまいりたいと考えております。

まちづくりの基本は、町民との対話と相互理解が大切であり、そのためのより解りやすい情報を提供し、活発な対話を通じて相互の理解を深めながら、町民が一丸となって、「チーム沼田」の想いで知恵を出し、協力し合い、助け合い、町民から喜んでもらえる役場でありたいと考えます。

未来にツケではなく、活力を残す方法を、物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさも感じられる我が故郷を将来に引き継ぐための施策を進めてまいりたいと思ひます。

そして、私は、町長として、その先頭に立って責務を担ってまいりたいと考えておりますので、町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

上げ、平成24年度の町政執行方針といたします。



平成24年

教育行政執行方針

今日、教育を取り巻く環境は少子化や国際化、情報化等の急速な進展に加え、人々の価値観やニーズの多様化、景気低迷の長期化等によって様々な課題が顕在化して来っており、そうした中で未来を担う子供達の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育てることを育むことが極めて重要な課題となっております。

また、高齢化が進む中であって、これからの社会をより活力あるものにするためには高齢者の皆さんに末永く元気で活躍いただくことが不可欠であり、社会教育についてもその役割は益々重要なものになって来ております。

本町の新しい時代を築く上において、教育の担う役割は極めて大きく、教育委員会と致しましては、こうした認識の下、子供から老年寄りまでの全ての町民が、自立し、共に支えあいながら、希望と活力に満ちた沼田町を築いて行くことを目指して、「子供達の学力向上とその基盤となる豊かな心、健やかな体の育成」、「子供達の健やかな成長を支える環境の整備」、「豊かな人生を支援する社会教育の充実」等を目標に掲げ、鋭意取り組んで参りたいと考えております。



以下、本年度の主要な施策について申し上げます。

1. 沼田町教育の総合的な充実・発展に向けて
要領の趣旨を十分に踏まえ、確かな学びの実現を目指し、次の重点施策に取り組みで参ります。

教育を取り巻く多くの課題を解決し、適正な教育活動を進めるためには、総合的かつ長期的な計画を策定し、それに基づいた政策展開が必要と考えております。新年度においては、本町教育の基本的指針となる「沼田町総合教育計画」の策定を行う他、教育活動全般の質的向上を目指し、推進体制の強化等も図って参ります。

① 総合教育計画の策定
児童生徒の健やかな成長を願い、また良好な家庭学習環境を作るため、睡眠・食事を基本とした生活習慣の改善を積極的に推進するほか、歯の健康や食育に関する指導を継続して参ります。

② 教育総合アドバイザーの配置
また、国の調査から、新学習指導要領が、小学校供達の体力が低下していることは平成23年度に、中学校では平成24年度から完全実施となります。新学習指導

③ 学校教育の充実
また、国の調査から、新学習指導要領が、小学校供達の体力が低下していることは平成23年度に、中学校では平成24年度から完全実施となります。新学習指導

④ 国際感覚に優れた子供の育成
また、国の調査から、新学習指導要領が、小学校供達の体力が低下していることは平成23年度に、中学校では平成24年度から完全実施となります。新学習指導

2. 「生きる力」を育む教育の推進
また、国の調査から、新学習指導要領が、小学校供達の体力が低下していることは平成23年度に、中学校では平成24年度から完全実施となります。新学習指導

健康維持及び体力向上を図

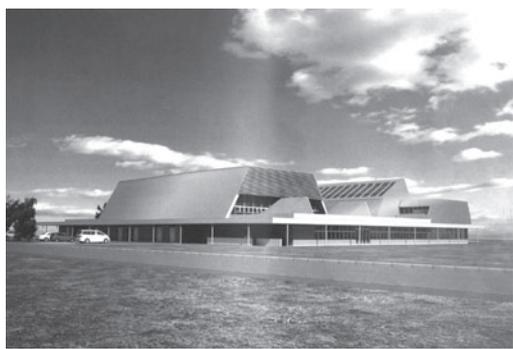
るための取り組みを推進して参ります。

①生活習慣の改善に向けた
取組み

- ②体力向上に向けた取組み
- ③学校におけるフッ化物洗口（虫歯予防）の推進
- ④家庭と学校における食育の推進

4. 学校施設・教育環境の整備について

平成23年度から着手した沼田小学校の改築工事については、今年12月の竣工に



向けて順調に推移しております。

平成24年度は、継続費2年目にあたり学校建設費で10億4239万1千円を計上し、外構整備の他、太陽光発電設備工事、現校舎の解体工事1期目までを実施することとしています。

また、児童が新校舎において効率的な学習が出来るよう、学校備品購入費を計上した他、未来社会に活躍する子供達に生活の基礎としての情報技術・情報活用能力等を身に付けてもらう

と共に、普及が進んでいるデジタル教材の活用により授業の高度化、効率化を図ること、また、校務支援システムの導入により教職員の事務負担を大幅に軽減し、児童生徒に対する指導の充実を目指すこと等を目的に、小・中学校の情報教育のための環境整備費を計上しました。

教育委員会と致しましては、今回の小学校の新校舎建設を契機に、幼小中の一貫（連携）教育や情報教育の推進に一層努力して参りたいと考えております。

5. 「学童保育」と「こどもの健全育成ついで」

「学童保育」を設置して11年目を迎えたところで、年々保育を希望する家庭が増加しており、現在45名の児童が登録されています。

小学1年生から4年生（但し、4年生は学校休業日のみ）までを対象としておりますが、希望があれば学年枠を超えて受け入れると共に、月に1回土曜日も開所する等、保護者のニーズに対し出来る限りの配慮をしているところです。

なお、新たな施設を沼田小学校の新校舎内に建設中であり、本年12月に小学校と共に移転する予定となっております。

また、そうした環境の下、



学校や地域の協力もいただきながら、放課後児童（1年生から6年生）を対象に、子供達の生きる力の向上を目指した「こども交流ひろば」を試行したいと考えております。

6. 社会教育事業について

教育委員会では、従来より子供から高齢者まで様々な学習活動の機会を提供して参りましたが、今後においては、地域の教育力向上に資する社会教育活動への地域住民の参画という視点も持ちながら、様々な取り組みを行って参ります。

7. 社会教育施設について

生涯学習総合センター（図書館含む）のほか町民会館、化石体験館等の社会教育施設は、子供からお年寄りまでの多くの皆様にご利用いただいております。今後も社会教育活動の拠

点施設として、町民の皆様
に気持ちよく利用していた
だけけるよう適正な運営を
図って参ります。

8. 社会体育の充実につ
て

スポーツは、爽快感、達
成感、他者との連帯感など
の精神的充足をもたらすと
ともに、健康の保持増進、
体力の向上、青少年の人格
形成等に資するなど、心身
両面にわたって、極めて有
益で欠くことの出来ないも
のであります。

このため、町民がそれぞ
れの体力や年齢、目的に応
じて、いつでも、どこでも、
だれでも気軽にスポーツに
親しむことが出来るよう、
町体育協会をはじめ、ス
ポーツクラブ等と連携・協
力しながら、生涯スポーツ
社会の具現を目指して参り
ます。

9. 社会体育施設につ
いて

本町の社会体育施設は、
スポーツ振興・健康増進・
交流スペースとして町民に
広く利用されているところ
であります。ほとんどの
施設が建設後長い期間を経
過し、老朽化が進んでいる
のが現状であります。

今後とも、適正な維持管
理に努めると共に、効率的
な運営にも努力して参りま
す。

社会が大きく変化し、
人々のニーズや価値観が多
様化する中で、教育を取り
巻く環境も一段と難しさを
増して来ております。

そうした中、教育予算に
つきましては、町財政も厳
しい状況ではあります。最
大限の計上をいただきまし
た。「まちづくりは人づく
り、人づくりは教育」と言

われる様に、教育の果たす
べき役割は極めて大きく、
とりわけ未来を担う子供達
の健やかな成長のために
は、社会全体の関わりが不
可欠であります。

教育委員会と致しまして
も、そうした体制づくりに
力を注ぐと共に、住民の皆
さんが生き生きと学び続
け、豊かな人生を送ること
の出来る様、また、未来を
担う子供達の健やかな成長
のために、職員共々全力で
取り組んで参る所存であり
ます。

町民並びに議員各位のご
理解とご協力を心からお願
い申し上げます。平成24年度に
おける教育行政執行にあ
たっての所信と致します。

4月は入園・入学シーズン！
各施設で入園式や入学式が行われました！

沼田保育園



4月2日（月）、沼
田保育園（土肥芳子園
長）の入園式が行われ、
今回新たに7名の園児
が入学し、園児49名と
なりました。

入園式では、土肥園
長より「家庭と園の両
方でしつけをしていき
ましょう。しつけは厳
しいものではなく、楽
しく園児の成長の手助
けとなるようやってい
きたい。ご協力お願い
します」と挨拶。

歓迎のお楽しみ会では園児による歌のプレゼンと先生による絵本の読み聞かせが贈られました。

最後に園児と保護者全員で記念撮影を行い、とても楽しい雰囲気
で入園式は終了しま
した。

元気いっぱいがんばるぞ!!

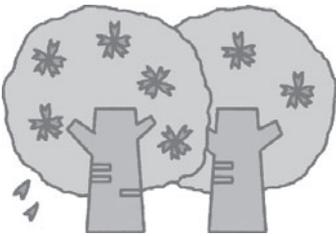


共成季節保育所

少し時期はずれな雪が降り続く4月2日(月)、共成保育園(渡辺敏昭園長)で第47回となる入園式が行われました。

今年度の入園児は一時保育を含めると9名。園児たちは席に座り、お母さんたちが少し離れた場所から見守る中、式はスタート。少し不安げな顔を見せながらも、園児は先生の点呼に元気に「はい!」と手を上げながら答えていました。

渡辺園長は「今日から共成保育園での生活が始まります。みんな先生の言うことを聞いて楽しんでください」と園児に向けて挨拶。これからは楽しみな入園式となりました。



みんなで楽しい園生活!!



沼田幼稚園

季節外れの雪が降る4月9日(月)、沼田幼稚園(田中敏夫園長)において、第35回目となる入園式が執り行われました。

今年度の入園児は男子9名、女子13名の計22名。園児は真新しい制服に身を包み、講堂に入場しました。

周りをキョロキョロと見渡したりしながらも、先生から名前を呼ばれた時には元気に「はい!」と返事。「チューリップ」の合唱の際も、大きな声で歌っていました。

4月より新たに着任した田中園長は「幼稚園では、これから楽しいことがたくさんあります。お友達と仲良くして、元気に園生活を送ってください」と、園児に語りかけていました。

式の最後に、商工会女性部から手作りのマスコットが園児に配布され、元気いっぱい明るい雰囲気の入園式となりました。

新しい学校も楽しみです!!

沼田小学校



4月6日(金)、沼田小学校(藤森正男校長)の入学式が、沼田小学校体育館で行われました。

今年の新1年生は24名で、笑顔満開で体育館に入場してきました。校歌斉唱のあと藤森校長先生が式辞の中で新1年生に「おめでとう!」と声をかけると「ありがとうございます」と元気いっぱい答えていました。また「12月に校舎が新しくなり、床暖房が付き、窓が大きくなります。皆さんは、新しい校舎に負けないくらい立派な1年生になってください」と述べていました。

式の最後には、歓迎の歌「ピリブ」を在校生がみんなでおどし、新1年生を迎えていました。

だんだん、勉強難しくなるかな?

沼田中学校



晴天ながらも冷たい風が吹く4月6日(金)、沼田中学校(長野時敏校長)で平成24年度の入学式が執り行われました。

今年の新入生は男子17名、女子10名の計27名。新入生は少し緊張した面持ちながらも、新しい担任の先生の呼名に大きな声で「はい!」と返事。

長野校長は式辞で「今日から中学校の生徒です。先程の大きな声、まっすぐな姿勢に、これからの決意を感じます。新しい出会いを大切にして、これからみなさんが何事にもチャレンジし続ける姿が見られるのが楽しみです」と、新入生にエールを送りました。

新入生代表の挨拶で、春山峻くんは「中学生としての自覚を持ち、あらゆる壁に立ち向かい、何事にも前向きに取り組んでいきます。一日でも早く中学校生活に慣れ、一つ一つ成長していきます」と、長野校長のエールに答えるかのよう、代表の言葉を述べていました。

平成24年度 一般会計予算総額

歳入

48
億円

地方交付税

20億2,109万円

国に納められた一部の税金から全国の市町村の規模に応じ、地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう、一定の割合で国から町へ配分される税

国・道支出金

7億5,588万円

町が行う事業のうち、国・道が公益性を認め、その事業を実施するために国から町に交付されるお金

町債

4億3,900万円

建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

地方譲与税及び交付金

1億2,240万円

地方譲与税、地方消費税交付金等

町税

3億1,747万円

町税・固定資産税など

繰入金

6億4,143万円

事業を行うための基金の取り崩し

使用料及び手数料

8,800万円

公営住宅使用料・ゴミ処理手数料など

諸収入

1億4,047万円

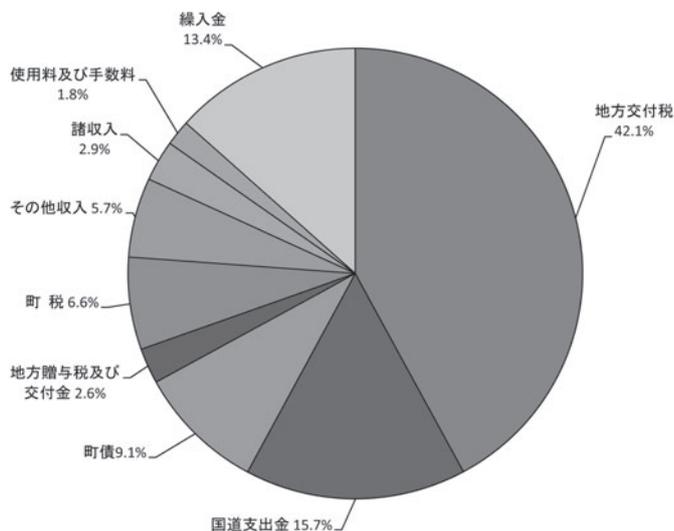
貸付金元利収入など

その他収入

2億7,426万円

財産収入・寄付金など

歳入に占める割合



前年度の比較

前年度当初予算は、統一地方選挙が執行された年となるため骨格予算となっており、当初比較で本年は7億1,500万円の増額予算となり、また6月の本予算との比較でも5億7,175万円の増額となりました。

増額要因の主なものは、小学校改築事業・学童保育所整備事業の2期工事が全体事業費の約8割を予算計上したことによるものです。

特別会計予算

18億467万円

会計名	当初予算額
養護老人ホーム特別会計	2億3,246万円
特別養護老人ホーム会計	3億9,462万円
高齢者グループホーム	3,841万円
介護保険特別会計	3億3,321万円
国民健康保険特別会計	5億3,695万円
後期高齢者医療特別会計	5,738万円
公共下水道特別会計	2億1,161万円

平成24年度「ずっと『支える』もっと『はばたく』雪国の理想郷 沼田町」を実現するための本格的初年度。下記4点を重要施策としました。

健康 **教育**
防災 **住生活**

歳出

総務費 3億3995万円

町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費

民生費 5億1,531万円

障がい者や高齢者に対する福祉の充実、保育園運営などの経費

衛生費 1億9,521万円

生活環境の保全、ごみ処理などに係る経費

農林水産業費

4億5,805万円

農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費

商工費 6,428万円

企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費

土木費 5億1,103万円

道路維持改修、除排雪、公営住宅やパークゴルフ場などに要する経費

消防費 1億8,028万円

火災の予防・消火や急病人の救助などの経費

教育費 12億4,880万円

小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費

公債費 5億4,436万円

町の事業を行うために借入れた資金の返済に充てる経費

職員費 6億0,610万円

職員の給与などを支払う経費

その他 1億3,663万円

議会費 4,687万円 諸支出金 7,979万円
労働費 846万円 災害復旧費 51万円
予備費 100万円

基金残高の推移見込（一般会計所管分） 単位：千円

(3) 基金残高の推移見込み（一般会計所管分）

基金の区分	23年度末 現在高 (見込)	平成24年度中の増減			24年度末 現在高 (見込)	
		利子積立	新規積立	取崩		
財政調整基金	334,989	402			335,391	
減債基金	506,230	800	23,000		530,030	
特定目的基金	振興基金	662,644	640	25,000	80,000	608,284
	自動車学校基金	460	1			461
	ふるさとづくり基金	10,090	13	1,000		11,103
	社会福祉基金	115,940	140	1	13,936	102,145
	農業振興基金	97,340	117	26,000	9,262	114,195
	農地流動化基金	25,772	31		5,575	20,228
	商工観光振興基金	36,809	45	1	9,000	27,855
	企業等誘致推進基金	59,800	72		3,241	56,631
	移住定住促進基金	32,014	39		12,500	19,553
	みどりの景観等保全基金	12,749	16		514	12,251
	スコレ基金	27,220	33	1	7,404	19,850
	青少年スポーツ文化振興基金	997	2	1		1,000
地域医療確保安全化基金	200,672	181			200,853	
学校教育施設整備基金	501,828	423	1	500,000	2,252	
特定目的基金合計	1,784,335	1,753	52,005	641,432	1,196,661	
定額 奨学資金貸付基金	6,081	8	100		6,189	
定額運用基金合計	6,081	8	100		6,189	
基金総合計	2,631,635	2,963	75,105	641,432	2,058,271	

注) 23年度末現在高見込は、決算の状況により移動が生じます。

今後とも、一般財源の増加が見込めない現状にあり、更なる歳出削減の努力が必要です。

特に中長期的な期間でコントロール可能な公債費を抑制し、現状の歳入で持続可能な歳出規模とする「安定的持続可能な財政基盤の確立」が最重要課題となっています。

平成 24 年度 沼田町予算概要版

平成 24 年度のまちの予算を紹介しています。町の予算が、実際どのような事業に使われているのか、主な事業を中心に簡略に説明します。

もっと詳しく知りたい方は、担当課にお気軽にお問い合わせください。

5 沼田町教育総合アドバイザー設置 で教育力の底上げを目指します！

教育に関する識見と豊富な体験をもった人材を多様化・高度化する学校教育・社会教育の特定分野の指導者、学習相談等の専門職として設置し、地域教育力の底上げ向上を目指します。

2,189千円

6 防災無線放送施設を更新し、災害に備えます！

平成 6 年に整備した防災無線放送施設（農村部の戸別受信機・市街地の屋外子局）は 18 年が経過し経年から老朽化が著しいことから、クリアな音声で情報伝達可能なデジタル無線に更新するものです。

なお、平成 24 年度から 25 年度までの 2 カ年事業として取り組みます。

106,419千円 (2カ年)

7 役場庁舎の耐震性に向けて耐震 2 次診断を実施します！

役場庁舎は防災拠点、災害対策本部として有事の際の重要な機能が整備されていることから、行政機能が失われぬよう、耐震 2 次診断を実施して、耐震化を進めていきます。

◎国土交通省補助事業 補助率 1/2

5,670千円

8 地域特性や時代に合った住宅施策を目指します！

平成 18 年に策定した「住宅マスタープラン」は社会環境の変化から、住宅行政を取り巻く状況も大きく変化しています。このため、土地利用や公営住宅の長寿命化を含めた、総合的な住生活の基本計画を策定し、住宅市街地の整備方針など地域の特性や時代にあった住宅施策を目指します。

6,951千円

1 健康運動指導士を活用して町民の健康増進を応援します！

糖尿病や心臓病などの生活習慣病が増えていることから、町民が主体的に健康づくりに取り組むことが不可欠となっています。町民皆さんが、生活習慣の維持・改善や生活習慣病予防のため「健康運動指導士」を配置し保健師・管理栄養士の取組と連携して健康づくりを応援することとしました。

◎健康運動指導補助員、健康運動用マシン購入、など

2,603千円

2 食育から元気ハツラツ生き生き生活を応援します！

町民のみなさんの「食」に対する考え方を育て、生涯にわたり、元気でハツラツに生き生きと暮らすことができることを目指し、家族や地域ぐるみの全町的な運動として推進することとしました。

◎食に関する講演会、「食」を選択する学習、グループワーク、など

393千円

3 沼田小学校改築・学童保育所整備（Ⅱ期工事）を推進します！

平成 23 年度から工事着手した改築工事は、本年度校舎部約 80% を執行し、12 月完成の予定で進んでいます。また外構整備のほか太陽光設備工事も着手、現校舎の解体工事 1 期目まで実施することとしています。

◎校舎改築工事、外構整備、旧校舎解体、太陽光設備、備品整備

1,074,563千円

4 沼田小中学校の教育環境の向上を進めます！（ICT 整備）

未来社会に活躍する子ども達に、生活の基礎としての情報技術・情報活用能力情報倫理を身に付けてもらうため、電子黒板、タブレット端末、またモバイル化に向けた無線 LAN のアクセスポイントを整備し、より魅力的な教材の提供により子どもたちが主体的に学ぶ力を育てます。

26,611千円

安心して暮らしやすいまちづくり

★地域医療体制の充実 8,710 千円

- ・厚生病院医師確保対策補助金
- ・厚生病院医療機器整備費補助金

★高齢者福祉・介護の充実

- ・在宅サービス事業（社協委託事業）4,428 千円
除雪サービス事業、生活管理指導員派遣、外出支援サービス、軽易作業、生きがいディサービス
- ・在宅介護サービス奨励手当支給事業 1,200 千円
要介護度 3 から 5 までの方で居宅サービスを毎月 1 回以上利用した場合、月額 5,000 円が支給されます。
- ・「この町に住んでよかった」住環境整備費助成
介護を必要とする高齢者や身体障がい者が暮らしやすい住宅に改造工事を行う場合に事業費の 1/2 以内 80 万円を限度に助成します。
- ・高齢者世帯等除雪助成事業 4,200 千円
高齢者世帯のうち、玄関前の除雪に関し冬期間を通じて業者又は個人に委託している世帯に対し支払った額の 1/2 を（上限 2 万円）助成するものです。
- ・高齢者ハイヤー利用助成事業 1,126 千円 **拡充**
65 歳以上の高齢者で、冬期間町内及び町外の病院、歯科医院、整骨院など医療機関への通院が困難となる方に対しハイヤーチケットを交付して、安心して在宅生活を継続してもらうことを目的としています。
- ・高齢者等見守り事業 152 千円
高齢者の孤立を防止する見守りネットワークの運営経費（社協と協働 1/2）

★子育て支援の充実

- ・沼田保育園保育料の軽減対策 4,133 千円
国基準の保育料に対し 30%の軽減を実施、更に H23 年 7 月より保育料算定階層を 15 階層に細分化し、経済支援を引き続き行っています。
- ・沼田保育園一時預かり事業 600 千円
- ・地域子育て支援センター運営委託事業 4,825 千円
- ・乳幼児・児童医療費無料化事業 3,361 千円
- ・乳幼児医療費助成事業 3,774 千円
- ・中学生医療費無料化事業 916 千円
- ・がんばる高校生応援手当 5,160 千円
3 年に限り 1 人当たり月額 5,000 円 9 月 3 月に交付 86 名分

★健康づくりの推進

- ・住民集団検診 9,597 千円
女性の 1 日総合健診、ふれあい総合健診、がん総合健診、子宮・乳がん検診、C 型肝炎ウイルス検査、エキノコックス検査、歯科検診とフッソ塗布
- ・各種予防接種 9,859 千円
乳幼児集団接種、乳幼児個別接種、乳幼児ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ予防接種

住み良い生活基盤の確保

★雪対策の充実

- ・除雪トラック（専用車）購入事業 46,101 千円 **新規**

★公園の整備

- ・萌の丘千本桜植栽プロジェクト 3,800 千円
10 年後、20 年後の萌の丘が桜の名所と呼ばれ、遠くに大雪連峰を望む北空知の雄大な田園風景を後世の財産として残していくこととし、ニトリ基金で植栽された 578 本の桜に更に 422 本植栽を施し文字通り千本桜の名所としていくこととしました。

★街路灯事業

- ・街路灯省エネランプ交換事業（道交付金 1/2 事業） 14,500 千円
防犯灯 LED80W 相当 132 基
- ・街路灯電気負担の 40% 据え置き 319 千円
街路灯（防犯灯）の省エネランプ交換事業を 3 ヶ年で進めていることにより、各町内会が負担する電気料については、H 24 は本来負担 50% とすべきところ、40% に据え置くこととしました。
- ・ほたる街灯の塗装 5,200 千円
本通 3 丁目、4 丁目、農協通り、南 1 条通り 48 灯

活気あるまちづくり

★農業総合対策

- ・新時代農業経営高度化支援事業 1,500 千円
多様な作物や技術等の導入による、農業経営の高度化を図るものに支援し、本町農業の持続的発展を目指すもの。
- ・新規作物等導入支援 補助率 8割以内 限度額 1,500 千円
- ・雪中ブランドづくり支援 8割以内 限度額 1,500 千円
- ・就農後 10 年未満の後継者支援 8割以内 限度額 1,500 千円（園芸作物増棟）
- ・婚姻後 10 年未満の後継者支援 8割以内 限度額 1,500 千円（園芸作物増棟）
- ・土づくり推進事業 800 千円
適正施肥による肥料代の軽減と地域資源の活用など総合的な土づくりを支援し農業経営の安定を目指すもの。
- ・農業生産組織育成支援事業 1,500 千円 **拡充**
スケールメリットによる機械経費にかかるコスト低減と、農業従事者の減少などに対応するため法人化を推進し地域農業の一翼を担う法人組織を育成するもの。
- ・農業実習生受入事業 中山間事業
- ・グループ婚活事業支援 中山間事業
- ・農業担い手育成支援事業 中山間事業
- ・沼田農業元気塾の開講 中山間事業
- ・農業まつり実施 中山間事業
- ・都市との交流事業 中山間事業
- ・農業体験事業 中山間事業
- ・農産物 P R 販売事業 中山間事業
- ・沼田町有害鳥獣対策委員会交付金 1,306 千円

活気あるまちづくり

★農業への新規参入対策の推進

- ・沼田町農業新規参入推進事業補助金（国制度の活用） 2,610 千円 **重点**

農業新規参入者が就農するにあたって必要な研修を支援・実施することにより担い手を確保し本町農業の持続的発展を図るもの。国の「新規就農総合支援事業（青年就農給付金「準備型」）を活用し、準備型の事業期間である2年間について町単独事業として、実習手当の加算・住宅料・実習ハウス借上料などの助成を行うもの。概ね22歳以上40歳未満の妻帯者又は18歳以上60歳未満の同居の親族を有する者2名
- ・沼田町農業研修生受入事業補助金 1,546 千円

国の「新規就農総合支援事業（青年就農給付金「準備型」）を活用した「沼田町農業新規参入対策事業の「お試し」研修と位置付ける事業であり、新規就農希望者の不安材料を取り除き、本研修（2年研修）へスムーズに移行させることを目指すもの。

★経営体育成基盤整備事業

- ・融資資金利子補給 6,076 千円

農業経営基盤強化資金、次世代農業者支援資金、冷湿害緊急対策資金
- ・中山間地域等直接払交付金 115,575 千円

急傾斜 681,414 m² 緩傾斜 12,658,103 m²
- ・農地・水保全管理支払交付金 27,002 千円

共同活動支援交付金分負担金 108,005,040 円のうち町負担 1/4
- ・基幹水利施設管理事業 41,596 千円

恵比島揚水機場、幌新ダム、沼田ダム
- ・国営造成施設管理体制整備促進 13,379 千円

多面的機能管理

商工業の振興

★商工業の振興

- ・沼田町中小企業特別融資貸付金 37,500 千円

町制度融資資金の貸付枠を1億5,000万円として預託するものです。これにより、町内商工業者の皆さんの設備資金・運転資金を確保するものです。
- ・中小企業融資資金利子等補給事業 3,750 千円

利子補給 1.5%、保証料全額
- ・購買力向上対策事業補助金 200 千円

商工会が町内の消費拡大を図るための啓蒙事業を支援するもの
- ・特産品開発事業補助金 1,000 千円

沼田町の知名度向上につながる特産品の商品化を支援するもの
- ・週一夕市事業補助金 200 千円

週1回市場を開催し、商業の振興を図るもの

移住定住の促進

★移住・定住の推進

- ・移住定住応援事業 12,500 千円
新築住宅取得、中古住宅取得、町内業者加算、融雪溝沿線加算、土地購入、住宅リフォーム
- ・融雪施設設置助成事業 1,800 千円 **新規**
- ・北海道沼田町で社長になりませんか事業 1,000 千円

雇用対策

★緊急雇用創出事業（国の重点分野雇用創出事業）

- ・体験観光PR 2,741 千円
ほろしん温泉ほたる館を拠点とした、体験観光PRを促進
- ・沼田ブランド特産品販売事業 2,493 千円
沼田町の特産品の町外への販売戦略の構築。積極的なPR活動による特産品販売の促進。
- ・農産物6次化支援事業 3,200 千円
地域の農産物の加工、商品化、流通基盤の確立、販売の促進。

観光イベントの推進

★魅力ある観光地づくり 11,788 千円

- ・夜高あんどん継承事業
- ・夜高あんどん祭り「お祭り広場」
- ・観光PR事業
- ・明日萌観光事業
- ・明日萌の里フォトコンテスト
- ・明日萌の里ほたるの里歩くスキーの集い



学校教育の充実

★教育環境の充実

- ・沼田小学校学力向上補助教諭 2,040 千円
- ・外国語指導助手 2,350 千円
- ・支援教員の配置 2,940 千円
- ・炊飯器の購入 221 千円 **新規**



社会教育の充実

★社会教育推進事業

- ・家庭教育支援事業
- ・合宿通学事業
- ・小矢部市青少年交流事業
- ・川島町青少年交流事業
- ・地域人材バンク事業
- ・人材育成研修派遣事業

★図書館事業

- ・本を読もうキャンペーン
- ・図書館フェスティバル
- ・本のリサイクル市



～ 平成24年度 町の予算概要 ～

社会体育の充実

★社会体育推進事業

- ・スポーツ教室
- ・B&G海洋セミナー派遣
- ・町民体育祭
- ・高穂スキー場圧雪車購入

新規



教育関係の施策

★沼田町総合教育計画策定事業 1,200千円

重点

★学生ボランティア学習サポート事業 350千円

新規

国際交流の推進

★ポータルハーディ交流協会補助金 3,820千円

- ・派遣団受入事業
- ・訪問団派遣事業

地球環境に貢献
するまちづくり

★ごみ等の収集

- ・ごみ処理に要する経費 54,181千円
- ・し尿処理に要する経費 10,381千円
- ・ディスプレイ設置助成事業 800千円

拡充

一般家庭助成額 25,000円、子育て世帯 50,000円

その他の施策

★地域おこし協力隊事業 6,220千円

新規

都市圏住民を地域おこし協力隊員として受け入れ、集落における地域協力活動を進めるもの。

★地域資源全国展開事業補助金 1,500千円

新規

経済産業省補助事業3年事業の3年目。真夏に雪を利用した観光事業の開発を目的。

★沼田町利雪研究会補助金 350千円

★利雪新産業創出事業補助金 300千円

新規

★農産加工場新商品開発事業 1,014千円

新規

★空知中央バス生活交通路線維持補助金 334千円

新規

★ほたる館の施設整備 24,377千円

- ・エレベーターの設置
- ・合併浄化槽改修

心が通じ合う良き相談相手になれるように…

平成 23 年度北空知地区行政相談委員自主研究会

3月8日（木）、ほろしん温泉ほたる館において、北空知地区行政相談委員会（源紀男会長）が主催の「平成 23 年度北空知地区行政相談委員自主研究会」が行われました。

行政相談委員は、行政相談委員法に基づいて総務大臣から委嘱された委員で、国が行った仕事に関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知を行うなどの仕事を無報酬でしており、全国で約 5,000 人の行政相談委員が活動しています。

北空知地区行政相談委員会は、北空知地区 1 市 5 町の行政相談委員で組織されており、毎年夏季研修と冬季研修の 2 回自主研修を行っています。

研修会の冒頭で来賓の総務省北海道管区行政評価局の松本順局長が挨拶し「忌憚のない意見を言える自主研究会を 2 回も行っている地区は、めずらしい。私どもも全力で行政相談委員のサポートを行っていきたい」と述べました。

研修会では、総務省北海道管区行政評価局の中畠寛司首席相談官から、過去に公正取引委員会に在籍していた経験を生かした「不当表示について」の講演が行われ、出席した行政相談委員からも積極的に意見が出していました。研修に参加した行政相談委員は「とても為になった。今後の活動に役立てていきたい」と話していました。



カラフルキャンドル上手にできたよ！

こども工作教室

3月10日（土）ゆめっくるで「こども工作教室」が開催されました。

参加した小学校 1 年生から 3 年生の 10 名の子供たちは、ろうそくを手で折ってお湯の中で溶かして本体になる部分を作成し、次にクレヨンや鉛筆削りで削って、赤や青と好きな色の元を作りました。それらを混ぜ合わせるによりカラフルキャンドルが完成しました。参加した子供達は、それぞれが作り上げた思い思いの色のキャンドルを見比べていました。



至福のティータイム

趣味の講座「おいしい紅茶を楽しむための教室」

3月10日（土）、ゆめっくるにおいて、教育委員会が主催する趣味の講座「おいしい紅茶を楽しむための教室」が開催されました。

講師には、ティーコーディネーターの資格を持ち、紅茶プロデュース「Salon do fanne（サロンドファン）」を主宰する有田みち子さんが招かれました。

講座には約 15 名が集まり、有田先生は紅茶の種類や歴史、紅茶と一緒に楽しむためのお菓子などを紹介。

紅茶を入れる時のティーマナーを話した後、実際に「ダーズリン・ティー」を集まった人達に入れ、受講者たちは「良い香りだね」とカップを傾けて笑顔を浮かべていました。



ハンドメイドのシルバー！

アートクレイシルバー教室

教育委員会主催の趣味の講座「アートクレイシルバー教室」が、3月13日（火）ゆめっくるで開かれました。

アートクレイシルバーとは、純銀の細かな粉末と、結合材であるバインダー、そして水から成る「銀粘土」で銀を自由な形にすることができ、自分好みのシルバーを作ることができるものです。

16 名の参加者は、講師の指導のもと慣れない作業に四苦八苦ししながら、思い思いの形に仕上げ満足気な笑顔で、互いの出来上りを見比べていました。





東日本大震災から1年…

「生きることの尊さを知る」講演会

東日本大震災からちょうど1年が経過した3月11日(日)、ゆめつくるで元沼田小学校教諭の田中貴信先生から「生きることの尊さを知る」と題した講演会が開催されました。

田中先生は、宮城県気仙沼市出身で、お母さんは現在も気仙沼市在住です。

昨年8月に10日間、ボランティアとして現地に足を踏み入れ、がれきの処理や牡蠣養殖のイカダの重り作りなどをしてきました。

講演では、「現地で不安や悩みが人それぞれ違うが、前向きにがんばろうとしている人たちからたくさんの勇気もらい、これからも積極的にボランティア活動に参加したい」と生の声を聴かせてもらい、会場に集まった約120名の町民等が、感慨深げに聞き入っていました。

また、会場では地震のあった午後2時46分に会場全体で、被災者の冥福を祈り黙とうを行いました。

今後の事業展開に期待！

台湾での雪中米等販売促進に係る事後検討会



2月18日(土)、19日(日)の2日間、沼田町から約20名が台湾に乗り込み、雪中米などの販売促進を行いました。その事後検討会が3月19日(月)、観光情報プラザで開催されました。

会議は、アドバイザーとして今回の事業に携わったマーケティングコンサルタントで㈱クリエイティブ・ワイズの三宅曜子代表取締役の講評と現地で行ったアンケート結果の分析を聞きながら進められ「アンケートの結果がすごく良い。雪中米の『おこげあんかけ』から更に幅広いメニューが考えられる」「全国のB級グルメでご飯のあんかけは無い。面白い展開になりそうだ」と述べ、参加したメンバーからは「テレビ放送を見た町民から、沼田町でも試食会はやらないの?」「雪中米をこんなに広げてくれてありがとうと言われた」など、今回の事業の反響の大きさと現地での感

想を話していました。

三宅さんからメンバーへは「今回の試食した商品は『おいしい』という評価をもらった。今後は雪中米という名称をその特徴と合わせてもっともっと打ち出していかなければならない」と今後に期待する意見も聞かれ、参加したメンバーは次の戦略を考えていました。



交通事故の無いまちを目指して

沼田地区交通安全協会連合会総会

3月22日(木)沼田地区交通安全協会連合会(山田英次会長)の定期総会が沼田警察署で開催されました。

この連合会は、沼田警察署管内の沼田町、北竜町の交通安全協会の連合組織で、旭川方面公安委員会より運転免許証の更新等の業務委託を受けているほか、両町の交通安全に資する様々な活動を展開しています。

冒頭、山田会長から「沼田町は交通事故死ゼロ5000日、北竜町は2000日を目指し、交通事故死ゼロを続けていきたい。両町民一

丸となった交通安全活動を行っていききたい」と挨拶がありました。

総会には来賓として沼田町長、北竜町長をはじめ、沼田警察署長らも出席。はじめに金平沼田町長からは「気を引き締めて、交通事故死ゼロ5000日に向け、皆さんの協力をいただきたい」と述べ、続いて佐野北竜町長より「シルバー世代の事故が増えている。事故防止に向け、様々な場面で注意喚起をしていきたい」と述べました。

天野沼田警察署長からは、「昨年、沼田警察署管内の人身事故は3件と、旭川方面で一番少なかった。しかし、物損事故は195件と昨年よりも10件増えている。これを重大事故の前兆と見て、警戒していきたい」と、昨年の事故状況の報告がありました。

議事では、事業報告などが審議され、全て承認されました。また、役員改選では、全ての役員が留任となりました。

平成 23 年度「はあとふる沼田」関係団体等研修会

平成 22 年から始まった「はあとふる沼田」の関係団体等研修会が、3 月 24 日（土）町健康福祉総合センターで開催されました。研修会は、昨年に続き 2 回目です。

はあとふる沼田とは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるように町内会などで見守りネットワークを構成し、地域の皆さんのさりげない見守り・声掛けによって高齢者の状況や連絡の支援をしていく取組みです。

今回の研修会は「町内会活動と個人情報について」と題し弁護士法人 札幌・石川法律事務所の石川和弘弁護士に講演をいただきました。個人情報を提供して良い場合とダメな場合などを実際の事例を交えながら、難しいテーマでしたがわかりやすい説明を受け、約 70 名の参加者は、真剣に耳を傾けていました。



交通安全運動の最前線を担う 沼田町交通安全指導員会総会

3 月 28 日（水）沼田町交通安全指導員会（山田英次会長）の定期総会がふれあいで開催されました。

交通安全指導員会は、沼田町から委嘱された交通安全指導員により構成されており、日々町民を交通事故から守るための活動を展開しています。

総会の前に、長年にわたり交通安全指導員を努めた吉岡宥二さん（幌比里）に北海道知事からの感謝状と、石川英樹さん（北竜 3）に北海道交通安全推進委員長表彰が金平町長より伝達されました。

議事は、事業計画や予算など交通事故死ゼロ 5000 日に向けた活動が提案され、全て承認されました。



交通安全は地域から！ 沼田町交通安全協会支部長会議

3 月 29 日（木）沼田町交通安全協会（木谷克巳会長）の支部長会議が開催されました。

各町内から選出された交通安全支部長が一同に会し、4 月 6 日（金）から始まる『春の全国交通安全運動』に向けた取り組みについて協議されました。

冒頭、木谷交通安全協会長より「交通事故死ゼロ 5000 日まで 1 年を切った。春を迎え、町を出入りする通過車両の事故が懸念される。地域から交通安全の気運を高めてもらいたい」と述べました。

会議では沼田町の交通安全旗が各支部に配布され、春の全国交通安全運動に合わせて一斉に町内の主要道路沿いや交差点に掲揚することとし、また、毎月 10 日に行われる「交通事故死ゼロを目指す日」の実施について説明が行われました。

会議終了後、沼田警察署より北海道の交通事故の現状と沼田警察署管内の交通事故の傾向について講話があり、支部長の皆さんはうなずきながら交通事故の現状を学びました。



役場主婦の会が「カエルのマスコット」を新 1 年生にプレゼント

3 月 29 日（木）、役場主婦の会（金平智子会長）が、沼田小学校の藤森正男校長に交通安全などを願う「カエルのマスコット」を渡しました。これは、毎年行っているボランティア活動で、新 1 年生 24 名分を役場主婦の会会員が手作りしました。

この日は、金平会長と会員の辻優子さんが小学校を訪れ、金平会長は「交通安全祈願です。毎日元気に無事に帰ってきてほしい。また、沼田の小学生は、みんな元気な挨拶をする」とマスコットに込めた思いと子供達のすばらしさを述べていました。

今回プレゼントしたマスコットは、4 月 6 日（金）の入学式で新 1 年生に手渡されました。





新しい消防団員が4名入団！ 沼田消防団辞令交付式

4月2日（月）、役場3階会議室において沼田消防団の新入団員の辞令交付が行われ、4名の新入団員に渡辺健三団長から辞令書が交付されました。

今回、消防団に入団したのは齋藤和彦さん、植木高志さん、黒田直樹さん、門間弘樹さんの4名。4名は少し緊張した面持ちで団長から辞令書を受け取っていました。齋藤さんと植木さんは第2分団、黒田さんと門間さんは第1分団に配属されます。

また、第1分団と第2分団の昇格者の辞令交付も合わせて行われ、第1分団では角館康実さんが部長、馬狩良光さんが班長、第2分団では青木和幸さんが班長へと、それぞれ昇格しました。



春の全国交通安全運動を実施

昨日までの吹雪が嘘のように太陽が顔を出している4月6日（金）から4月15日（日）までの期間で、春の全国交通安全運動が行われました。

沼田町では、町内の通学する児童等を見守って、町内各所に町内会の方々や事業所員、交通安全指導員などが街頭に立ち、交通安全を呼びかけました。

毎年このような交通安全運動を行っている成果から、沼田町の交通安全が保たれており、通学する児童と朝の挨拶を交わし、地域のコミュニケーションを図っていました。



沼田長生クラブ JR石狩沼田駅を清掃ボランティア

4月6日（金）、沼田長生クラブ（野道夫会長）がJR石狩沼田駅の清掃ボランティアを行いました。

来週から深川などへの通学で多くの高校生が利用を始めることから、昨年と同様に同クラブが企画。会員らは、床に水を撒いてきれいにふき取り、ほうきなどで天井のほこりを丁寧に払うなどして駅舎の汚れを落としました。

このボランティア清掃に、JR深川駅の山本好男副駅長も駆け付け「昨年に続き、今年も掃除を行って頂き、駅がきれいになった。大変ありがたいです」と感謝の気持ちを述べていました。

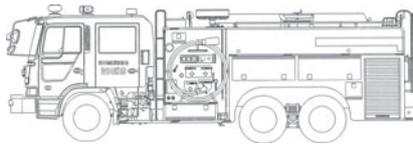
深川更生保護女性会「沼田すずらの会」総会が開催



4月7日（土）、沼田町就業支援センターに入所する少年たちの自立更生のために奉仕活動を行っている女性団体「すずらの会（藤村富子会長）」の総会が開催されました。

藤村会長が冒頭の挨拶で「この会も5年を迎えた。センターの食事会などを行っているが、たくさんの会員に参加していただき、とても感謝しています」と、1年間の行事等を振り返りながら挨拶をしていました。

総会は、平成24年の活動計画などすべての議案が承認され、その後開催された研修会では、この4月1日から新しく着任した旭川保護観察所沼田駐在官事務所沼田町就業支援センター本平利幸統括保護観察官からセンターの役割や組織について話を伺いました。



消報

深山地区消防組合
 深山消防署
 沼田支署予防担当
 TEL 35-2050

ゴミ焼きは禁止です！

平成13年4月から、基準に従わない野外でのゴミや廃棄物の焼却には厳しい罰則が適用されています（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）。

野外焼却は、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質発生の原因となります。農林水産業を営むために一部認められている事項がありますが、必ず届出が必要です。

ゴミは、分別方法に従い適切に分別して市町村指定の方法により出しましょう。



家族で家の中を点検！

テレビや冷蔵庫、洗濯機のプラグが何年もさし込まれたままになっていませんか？コンセントにたまったホコリが原因で、火災になることもあるんです！コンセントの定期的なお掃除をお忘れなく！その際に、コードがつぶれていないか、プラグが曲がっていないかなども点検してください。各家庭におかれましては、次の7つのポイントを「点検及び清掃」し火災を未然に防いで下さい。

電気火災を防ぐ7つのポイント

- ① コンセントに差したままのプラグに、ほこり等が着いていないか？
- ② コードが家具の下敷きになったり、押し付けにより傷ついていないか？
- ③ ビニールコードを柱等にステップル止めしていないか？
- ④ コードを束ねたり、ねじれたまま使用していないか？
- ⑤ コードは、許容範囲以下で使用しているか？
- ⑥ 差込プラグとコンセントの緩みがないか？
- ⑦ 電気製品を使用する時は、取扱説明書をよく読んでいるか？

プラグにホコリをためない。



ガソリンをポリ容器に入れてはダメ！

ガソリンを含む各種燃料は私たちの生活に深く関わっていますが、その取り扱いを誤ることで、火災の原因や被害の拡大につながる場合があります。

ガソリンは引火点がマイナス四十度程度でも火災の発生が極めて高い物質です。灯油用のプラスチック容器にガソリンを入れることは極めて危険です。消防法により禁止されていますので絶対にやめてください！

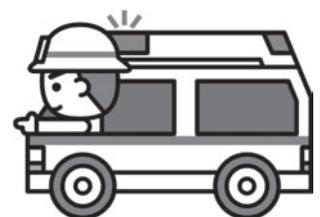


救急車の適正利用について考えてみましょう！

こんなケースで救急車が呼ばれました！～本当に必要か考えてみましょう～

- ・蚊に刺されてかゆい
- ・日焼けした足がヒリヒリする
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・入院予定日だから病院に行きたい
- ・病院で長く待つのが面倒
- ・交通手段がない

救急車や救急医療は
 限りある資源です！



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



自転車の盗難被害の防止のために 防犯登録をしましょう！ ～ 自転車には防犯登録とツーロックを～

例年より雪の多かった今年の冬。雪が解け始めると、自転車のシーズンを迎えます。

毎年、雪解けを迎える4月ころから、自転車を利用する機会も増え、盗難被害も増加しています。

- 自転車に備え付けの鍵以外にも、U字型やワイヤー型等の丈夫な鍵を付けるなど、ツーロックにして大切な自転車を盗難被害から守りましょう。
- 自転車の防犯登録をしましょう。防犯登録の手続きは、自転車の販売店で取り扱っています。防犯登録をすると、防犯登録番号や車体番号から持ち主が分かるので、自転車の盗難被害の防止につながり、万が一、盗難被害に遭った場合でも、自転車が見つかる可能性が高くなります。



山菜採りによる事故を防止しましょう！ ～ 山菜採り 無我夢中に 落とし穴～

例年、山菜の愛好家が行者ニンニクやタケノコ採りのために入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。

慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れないで、山菜採りを楽しみましょう。

◎事故を防ぐためのポイント

- ◇一人では山菜採りに行かないようにしましょう
- ◇家族などに必ず行き先と帰る時間を知らせておきましょう
- ◇一緒に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなどして絶えずお互いの位置を知らせ合うようにしましょう
- ◇自分がどこにいるのか常に確認しましょう。



すべては子どもたちのために…

生涯
学習

ゆめ
つくる



今年度、沼田町教育委員会は「学力の向上」に向けた取り組みを重点的に行うこととしておりますが、子どもたちが学んだことをしっかりとした力として身に付けるための、主な取り組みとして、次の様なことが大切であると言われております。

- ◆ 子どもたちに授業以外にも学習する場や機会を増やし、家庭学習の習慣をつける
- ◆ 朝の読書や家族みんなで読書する習慣をつける
- ◆ 家庭で楽しく食事をしたり、基本的な生活習慣をつける

これが全てではありませんが、上記に書かれていることのように、学校はもとより、地域、保護者などが一体となった取り組みが大切であるとされております。もちろん沼田町としても、学校教育の場においてチームティーチングによるきめ細かな指導を継続する他、夏休み・冬休み期間中に学生ボランティアによる学習サポートを実施するなど学力向上対策に努めてまいりますので、町民一丸となって子どもの学力向上や健やかな成長を育む体制づくりにご協力をお願いいたします。

「笑顔の子どもを育てる」 by 本庄 修

多様化・高度化する学校教育・社会教育の質的向上を目指して、教育委員会に教育総合アドバイザーを配置しました。

本庄修氏は、今年3月まで沼田幼稚園の園長を勤められ、また、学校の現場で培った豊富な経験を生かして、沼田の教育をより良いものにするべく、様々な場面で活躍していただくこととしております。町民の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



「笑顔の子どもを育てていけるように頑張って参ります。どうぞよろしくお願いいたします」

司書のイチカン! 『雨の名前、風の名前』



4月も後半に入り、春らしい気温が続くようになってきました。

北海道には梅雨はないといいますが、5月の前半はあまり天気がよくないことが多いですね。

そこで、今回は天気の名前に関する本を紹介します。雨や風の名前があることを知っていますか？

雨というと、大雨・小雨など雨の状態を指す言葉は知らない方はいないと思いますが、春霖（しゅんりん）や華雨（かう）という言葉は御存知でしょうか。春霖はこまかく畑のように降り続く三・四月ころの長雨のことを言い、華雨は春の花が咲いているところに降っている雨のことを言います。この二つの言葉だけ見ても、それぞれをふさわしい名前がつけられています。

風の名前でも、時津風や青嵐、神立など、雨の名前同様に言葉の奥深さが感じられる言葉が並んでいます。

雨の名前も風の名前も、古くから日本で使われてきた地域の言葉や、今では殆ど使われなくなってしまった言葉たちです。

紹介する本には、言葉の紹介とともに意味も載っています。意味を覚えておくと日々の生活の彩りになって、天気が悪くても楽しく過ごせるのではないのでしょうか。

図書館に来館された時は、ぜひ手にとってみてください。

新刊図書

《一般書》

- 「大人の流儀」 作者：伊集院 静
- 「考える短歌」 作者：俵 万智
- 「道化師の蝶」 作者：円城 塔
- 「我が槍は覇道の翼」 作者：吉川 永青
- 「開かせていただき光栄です」 作者：皆川 博子
- 「大往生したけりや医療とかかわるな」 作者：中村 仁一
- 「コレステロール治療の常識と非常識」 作者：桑島 巖
- 「エコクラフトカフェへようこそ！」 作者：古木 明美
- 「和布クラフト特別号」 パッチワーク通信社
- 「草原の風 上巻・中巻」 作者：宮城谷 昌光
- 「人を動かす英語」 作者：ウィリアム・ヴァンス
- 『『つなみ』の子どもたち』 作者：森 健
- 「ホントに朝ラクベンとう 300」 主婦の友社

《児童書》

- 「全ガンダム超ずかん」 小学館
- 「名探偵コナン理科ファイル太陽と月の秘密」 作者：青山 剛昌
- 「どうぞのいす」 作者：柿本 幸造

新刊図書おすすめ!!

「絆回廊 新宿鮫X」 大沢 在昌



やくざも恐れる伝説的アウトローが22年の長期刑を終え新宿に帰ってきた。その男の捜査を開始した新宿署刑事・鮫島。しかし、捜査に関わった人びとの身に、次々と――。新宿鮫シリーズ最新作。

「どうぞのいす」 文・香山美子 絵・柿本幸造



うさぎさんが椅子を作って「どうぞのいす」と看板を立てました。そこへろばさんがどんぐりを置いておくと……。『どうぞ』のリレーが思いやりを育む絵本です。読みきかせや舞台でも大人気の一冊。

「勇者様にいきなり求婚されたのですが」



魔王に攫われた姫を救い出した勇者様が、姫ではなく、なんと姫の侍女のモブキャラに求婚!? お約束無視の新感覚ラブコメファンタジー。ネット小説を書籍化。

変更 保険料率が変わりました

被保険者の皆さまにお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を見直すこととなっています。平成24・25年度の新しい保険料率は、次のとおりです。

◆均等割（被保険者が等しく負担）		◆所得割（被保険者の所得に応じて負担）	
平成22・23年 年間 44,192円	平成24・25年 年間 47,709円 (3,517円増)	平成22・23年 年間 10.28%	平成24・25年 年間 10.62% (0.33ポイント増)

◆限度額（1年間の保険料の限度額）	
平成22・23年 年間 50万円	平成24・25年 年間 55万円 (5万円増)



後期高齢者医療制度

75歳以上の方と、65〜74歳で一定の障害のある方が対象です。

保険料の計算方法

均等割 [1人当りの額] 47,709円 + **所得割** 【被保険者本人の所得に応じた額】 (平成23年中の所得 - 33万円) × 10.61% = **1年間の保険料** (100円未満切捨て)

- 1年間の保険料の上限額は55万円です。
- 75歳になった時など、年度の途中で加入した時は、加入した月からの月割りで計算します。

平成24年度の保険料額は7月中に個別にお知らせします。

軽減 保険料の軽減について

次の①～③に当てはまる被保険者の方は、保険料が軽減されます（軽減の内容は、平成23年度までと変更ありません）。

- ①均等割の軽減**
- 軽減は、被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。
 - 被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。

世帯の所得に応じて、4段階の軽減があります。

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合	平成24年度	前年度比
33万円かつ被保険者全員が所得0円 (年金収入のみの場合、受給額80万円以下)	9割軽減	4,770円	約300円増
33万円	8.5割軽減	7,156円	約500円増
33万円 + (24万5千円 × 世帯主以外の被保険者数) ※単身世帯の方は該当しません	5割軽減	23,854円	約1,800円増
33万円 + (35万円 × 世帯の被保険者数)	2割軽減	38,167円	約2,800円増

②所得割の軽減

被保険者個人の所得で判定します。

所得が次の金額以下の方	軽減割合
所得から 33 万円を引いた額が 58 万円以下の方	5 割軽減

③被用者保険の被扶養者だった方の軽減

この制度に加入したときに被用者保険（主にサラリーマンの方が加入している健康保険）の被扶養者だった方は、所得割はかからず、均等割が 9 割軽減になります。

年間保険料額の例

昨年度との比較の図を掲載しておりますので、昨年度と所得の変更がなければ、概ね平成 24 年度の保険料額がいくらからい変更になるかの目安としてご利用下さい。

例：一人暮らしで年金収入 80 万円の方は平成 23 年度 4,400 円が 4,700 円となり 300 円保険料負担が増えます。（軽減割合については右の①均等割の軽減をご参考としてください）

●単身世帯（世帯主）の場合

年金収入	均等割軽減	所得割軽減	平成 23 年度	平成 24 年度	前年比
80 万円	9 割	-	4,400 円	4,700 円	300 円増
153 万円	8.5 割	-	6,600 円	7,100 円	500 円増
168 万円	8.5 割	5 割	14,300 円	15,100 円	800 円増
180 万円	2 割	5 割	49,200 円	52,400 円	3,200 円増
211 万円	-	5 割	74,000 円	78,400 円	4,400 円増
250 万円	-	-	143,900 円	150,600 円	6,700 円増

年金収入 80 万円の方の場合
4,400 円→4,700 円
となり 300 円の増となります
（軽減割合については右の①均等割の軽減をご参考としてください）。

●夫婦 2 人世帯（共に被保険者）で、妻の年金収入が 80 万円以下の場合

年金収入	区分	均等割軽減	所得割軽減	平成 23 年度	平成 24 年度	前年度比
80 万円	夫	9 割	-	4,400 円	4,700 円	300 円増
	妻	9 割	-	4,400 円	4,700 円	300 円増
153 万円	夫	8.5 割	-	6,600 円	7,100 円	500 円増
	妻	8.5 割	-	6,600 円	7,100 円	500 円増
168 万円	夫	8.5 割	5 割	14,300 円	15,100 円	800 円増
	妻	8.5 割	-	6,600 円	7,100 円	500 円増
180 万円	夫	5 割	5 割	35,900 円	38,100 円	2,200 円増
	妻	5 割	-	22,000 円	23,800 円	1,800 円増
211 万円	夫	2 割	5 割	65,100 円	68,900 円	3,800 円増
	妻	2 割	-	35,300 円	38,100 円	2,800 円増
250 万円	夫	-	-	143,900 円	150,600 円	6,700 円増
	妻	-	-	44,100 円	47,700 円	3,600 円増



後期高齢者医療制度に係る問い合わせ先 **保健福祉課保険グループ**
【電話 35-2120（平成 24 年 4 月 1 日より窓口が変更となっています）】

住民健診の申込みが始まります！

沼田町の皆さまの健康に役立てていただきますよう、平成24年度住民健診のご案内をします。



《各種健（検）診のポイント！》

- ① 20～30歳代にも健康診査を新設
沼田町でも糖尿病などの生活習慣病が増えており、予防可能な病気だけに早期の健診受診が何より大切であることから、子育て世代の方が1人でも多く健診を受けていただきますようお願いいたします。
- ② 生活習慣病予防の健診料金を無料にしました。
- ③ 40歳～74歳の方の特定健診は、生活習慣病治療中の方も対象となります。現在ご加入の医療保険の「特定健診」を必ず受診下さい。
- ④ 「がん総合検診」は、社会保険など国民健康保険以外の特定健診とがん検診を同日に受診できます。
- ⑤ 12月乳がん検診は、一斉電話申込です。定員を超えることが予測されますので、引き続き電話申込とし、「がん総合検診」への振替えにご協力いただきますようお願いいたします。

～申込み方法～

詳しいお申込方法は、後日申込書と説明書を各世帯にお送りいたしますので、そちらでご確認の上、**5月21日（月）**までにお申込下さい。

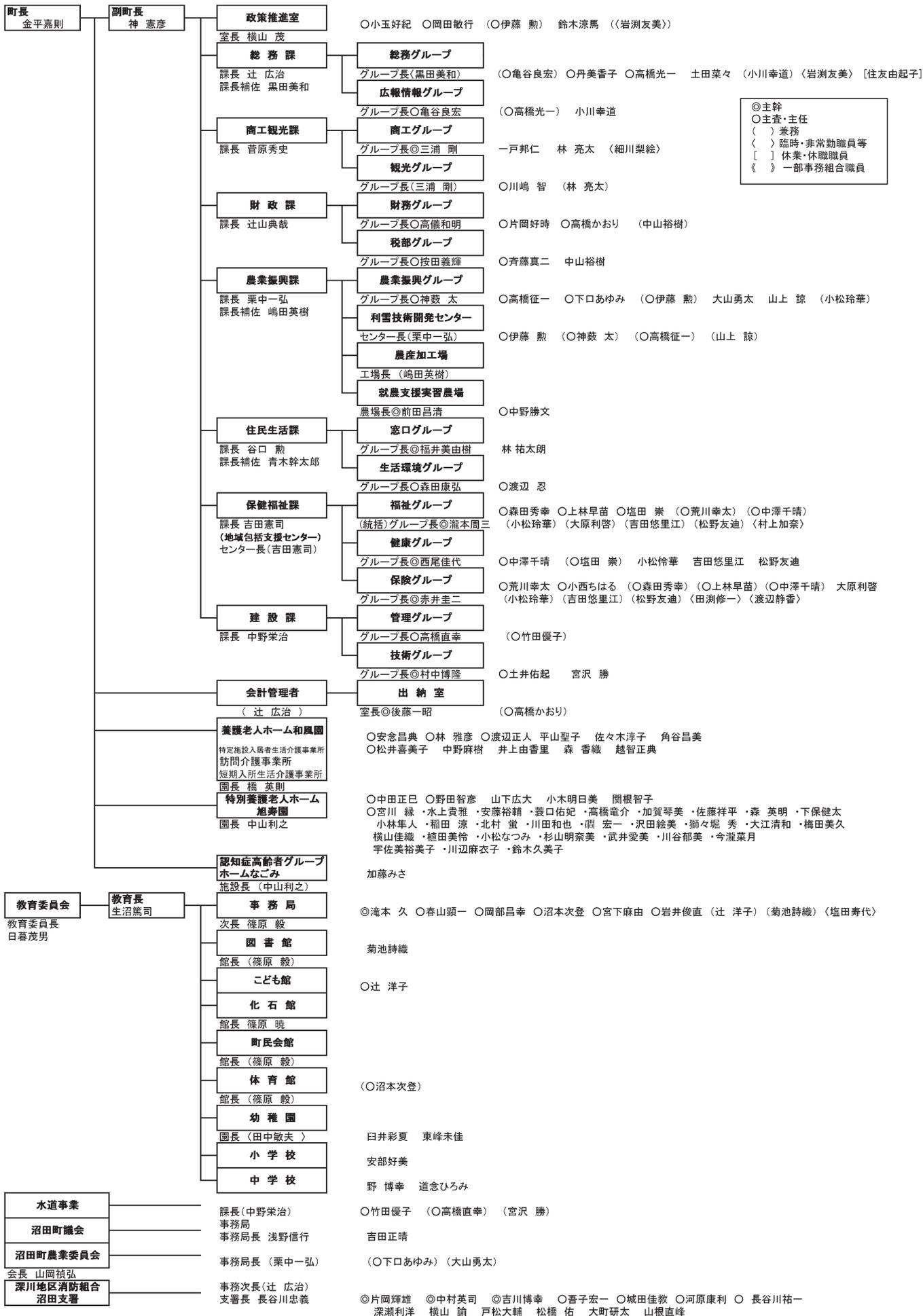
健診種別	生活習慣病予防のための健診			がん検診				
	新 若年健診	特定健診		子宮がん	乳がん	胃がん	大腸がん	肺がん（結核）
対象者	20～39歳	40～74歳		20歳以上女性 ※隔年対象	40歳以上女性 ※隔年対象	35歳以上	40歳以上	40歳以上 ※65歳以上は結核検診と併せます
健診・保健指導	*妊婦健診、職域健診など受診予定の方は除外	国民健康保険 ※現在ご加入の医療保険にご確認下さい。		頸部内診・細胞診	マンモグラフィ・視触診	胃X線造影	便潜血	胸部単純撮影（喀痰検査）
健診料金	無料	無料		1000円	1000円	1000円	1000円	1000円 ※喀痰無料
生活保護・非課税世帯（要申請）、70歳以上の方は無料です。								
旭川厚生病院	ふれあい総合健診 7月10日（火）～13日（金） 10月18日（木）～19日（金）			ふれあい総合健診				
健診センター	女性一日総合健診 7月24日（火）・26日（木） 11月13日（火） オススメ			女性一日総合健診 ※バス送迎有				
	人間ドック 希望日			人間ドック ※特定健診分				
沼田厚生病院	人間ドック 希望日			人間ドック ※特定健診分				
	沼田厚生病院健診 ※後日設定します			沼田厚生				
旭川センター	がん総合検診 ① 10月31日（水） ② 希望日 オススメ			がん総合検診 ※10/31のみバス送迎有				
対がん協会	がん総合検診 希望日 オススメ			がん総合検診				
ふれあい	子宮・乳がん検診 12月4日（火）			子宮・乳がん検診 ※定員90名				

ご加入の医療保険で、特定の医療機関に指定されている場合は、受診できません。

お願い
◆12/4の乳がん検診の申込方法◆
電話 35-2120 にて【先着順 90名まで】
5月28日（月）～6月1日（金）（9:00～17:00）
毎年ふれあいで行われる乳がん検診は、好評により定員を超える申し込みをいただいておりますが、検診医師の調整が難しくふれあい検診日を増やすことが難しい状況にあります。そのため、昨年からは12月4日の乳がん検診に限り電話での先着申込とさせていただきますので、ご協力をよろしく申し上げます。

役場保健福祉課
健康グループまたは保険グループ
【電話35-2120】までお問い合わせください。

沼田町役場機構図



◎主幹
○主査・主任
()兼務
〈 〉臨時・非常勤職員等
[]休業・休職職員
《 》一部事務組合職員

沼田町役場の課の配置が変わりました

4月1日から、農業振興課と建設課の場所が変更となっています。また、2階会議室に政策推進室が新たに設けられています。

1階

5 農業振興課

- 農業・畜産
 - 森林・地籍
 - 有害鳥獣駆除
 - 利雪技術
- 農業委員会

4 住民生活課

- 戸籍・住民票
- ゴミ・犬
- 公営住宅
- 墓地・消費生活

3 財政課

- 税金
- 財政
- 町有財産

2 出納室

- 支払窓口
- 収納窓口

信金
ATM

1 建設課

- 上下水道
- 町営バス
- 道路
- 建築
- 河川
- 公園

保健福祉課へ
 ● 子育て
 ● 健康・福祉
 ● 国民健康保険
 ● 医療給付
 ● 介護保険

階段

玄関

階段

2階

土地改良区

8 商工観光課

- 商工・労働
- 観光
- 移住・定住
- 企業誘致

7 総務課

- 総務
 - 防災
 - 広報・情報
- 選挙管理委員会

副町長室

【電話 35-2155】

6 政策推進室

- まちづくり
- 総合計画
- 広聴
- 新エネルギー

町長室

階段

3階は
議会事務局です。

階段

● **機構改革を行いました**
 役場では、機構改革に伴い4月1日より「地域開発課」を再編し、「政策推進室」と「商工観光課」を新設しました。政策推進室はまちづくりの計画や、皆さんの声を聴く広聴、また雪などを含む新エネルギーの活用などの業務を行います。

● **業務分担が変わりました**
 今までは、国民健康保険や後期高齢者医療制度の手続きは「住民生活課」が行っていましたが、4月より「保健福祉課」が業務を行うこととなりました。

また「総務課」が業務を行っていた自治振興協議会や交通安全・防犯が「住民生活課」の担当となりました。さらに、「地域開発課」が業務を行っていた利雪技術に関することが、今後は「農業振興課」が行うこととなります。

● **申請窓口が変わります**
 「地域開発課」が行っていた「リフォーム助成事業」の受付は、4月より「建設課」が受付窓口となることになりました。

さらに、「がんばる高校生応援手当」の受付窓口についても、「地域開発課」から「住民生活課」へ変更となりました。

また、ゆめつくるに事務所を設けていたスポーツクラブの事務所が、町民体育館に事務所が移動となりましたので、あわせてお知らせします。



まつの ともみち
松野 友迪 (25)

【勤務先】保健福祉課
【趣味】スポーツ、カメラ、旅行
【抱負】沼田町の健康を特に運動面からサポートします。みなさんよろしくお祈りします！



みやざわ まさる
宮沢 勝 (33)

【勤務先】建設課
【趣味】和太鼓、スポーツ観戦
【抱負】民間企業で培った技術と、経験を生かし、1日でも早く沼田町と町民の皆様のお役に立てるように頑張ります！

沼田町役場 新規採用職員等のご紹介

4月から沼田町で働くこととなりました。
町民の皆さん、
よろしくお祈りします！



かわたに いくみ
川谷 郁美 (20)

【勤務先】旭寿園
【趣味】散歩
【抱負】初めての事ばかりで、まだまだ不安なことがたくさんありますが、いち早く仕事に慣れ、役に立てよう精一杯頑張っていきたいと思ひます。



すぎやま みなみ
杉山明奈美 (20)

【勤務先】旭寿園
【趣味】読書、サッカー観戦
【抱負】毎日笑顔で元気に頑張ります!!!



はやし りょうた
林 亮太 (20)

【勤務先】商工観光課
【趣味】音楽鑑賞
【抱負】この町に役に立てるように、これから一生懸命がんばります。



やまがみ りょう
山上 諒 (22)

【勤務先】農業振興課
【趣味】旅行、道の駅めぐり
【抱負】まだわからないことが沢山ありますが、一日でも早く一人前の職員となれるよう精進しますので、よろしくお祈りします。



たなか としお
田中 敏夫 (60)

【勤務先】幼稚園 (園長)
【趣味】果樹栽培、バイク、音楽、スポーツ
【抱負】幼児教育は、教育の原点と言われてますが、子どもたちの健やかな成長のために、頑張りたいと思ひています。



とうみね みか
東峰 未佳 (20)

【勤務先】幼稚園
【趣味】吹奏楽 (トランペット)
【抱負】子どもはもちろん、保護者の方々や職員の気持ちに寄り添いながら、共に成長していきたいです。



いまたき なつき
今瀧 菜月 (18)

【勤務先】旭寿園
【趣味】音楽鑑賞
【抱負】出身地は旭川市です。高校を卒業したばかりで未熟ですが、利用者様を第一に考えられるような職員になれるよう頑張ります。よろしくお祈りします。



たけい めぐみ
武井 愛美 (20)

【勤務先】旭寿園
【趣味】映画、DVD 観賞
【抱負】出身地は札幌で、初めて一人暮らしです。わからない事ばかりですが、自分なりに頑張ります。よろしくお祈りします。

広報めまた 第五五八号

平成 23 年度北海道で最後の歩くスキー 明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

毎年恒例の行事で、北海道内年度最後の歩くスキーの集い「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」（同実行委員会主催）が、3月24日（土）、25日（日）の2日間で行われました。

24日にほろしん温泉ほたる館で行われた前夜祭には、翌日の集いに参加する約80名が参加。久しぶりの再会と道内各地の歩くスキー仲間が集うことで、とても好評です。

大会長で沼田町の金平嘉則町長が、「こんなに多くの方に参加していただきとてもうれしい。明日の集いもがんばってほしいことと、来年もぜひこの場所でお会いしたい」と歓迎の挨拶をし、高田勲副実行委員長（町体育協会長）の乾杯で宴が始まりました。

会場は、参加している歩くスキーの団体の紹介やビンゴゲーム大会などで盛り上がり、翌日の集いでの無事完走を誓いあっていました。

25日の本祭には、全道各地の歩くスキー愛好者に親しまれている集いだけあり、遠くは函館市や滝上町から約260名が参加。参加者は例年より若干少なめではあったものの、参加者は用意されたほろしん温泉ほたる館周辺特設コースを軽快に滑っていました。

また、この集いは、約50名のボランティアスタッフで運



営されており、ゴール後の地元幌新地区のグループ「すずらん土里夢（ドリーム）」のお汁粉や地元建設業協会のホットミルク、酒組合のミネラルウォーターなどが参加者に無料で振る舞われ、これも大変好評の様子でした。

毎年参加している60代の男性参加者は「この集いが終わったら来年までスキーをしまっ今年中行事です」と話し、滑り納めを楽しんだ様子でした。

今月号の赤ちゃんです。 すくすく育ててね！

3月19日生まれ
住友 結南ちゃん（長女）
ゆうな



お父さん 真治
お母さん 由起子

（市内2）

一〇二二年四月二十六日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 亀谷・小川 電話〇一六四―三五―二二二一

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
高橋 一雄さん	3月16日	86歳	市内5

人の動き

人口 **3,536**人（前月比△45人）
（男性1,654人 女性1,882人）
65歳以上 1,296人（高齢化率36.7%）
世帯数 1,602戸（前月比 △12戸）
○総人口増減内訳
増加…転入：18人 出生：1人
減少…転出：59人 死亡：5人
（平成24年4月1日現在）

交通事故死ゼロ

4661日

継続中！

（平成24年4月1日現在）